



高松外国人観光客お助け隊 活動報告

高松を訪れた外国人観光客の困りごと解決を行うために設立された「高松外国人観光客お助け隊」の詳細な活動内容を検討するために視察及び取組内容検討会を実施。

1 視察会の概要

日時 令和元年5月19日(日) 9時～11時

場所 JR高松駅、高松港フェリー乗場、クルーズ船岸壁、商店街

参加者 9名(香川大学2名、徳島文理大学3名、高松大学4名)

※U40 大美委員、若林委員も同行

目的 市街地の外国人観光客の状況を把握し、活動内容・場所を決める。



2 取組内容検討会の概要

日時 令和元年5月19日(日) 11時～12時

場所 高松市役所 7階 72会議室

※学生から出た意見(主なものを抜粋)

【視察の感想】

- ・瀬戸内国際芸術祭期間中だったため、港が混雑していた。
- ・係の人の対応が追い付いていない。(外国人対応含む。)
- ・アジア圏の外国人観光客向けの情報が少ない。
- ・MAPや案内等のツールは揃っているが目立つ場所に設置ができていない。
- ・時間帯も関係すると思うが商店街は外国人観光客があまりいない。

【活動内容・場所について】

- ・活動の場所としては、高松駅、港で活動するのが良い。
- ・道案内の際には、観光MAPを使用し、書き込みながら案内したい。
- ・切符の買い方を説明するようなツールづくりにも取組みたい。
- ・なかなか無い機会なのでクルーズ船の対応もしてみたい。

※駅、港を中心とした街頭声掛け案内活動とクルーズ船・イベント等の外国人客の対応を当面の活動内容とすることになった。



3 今後のスケジュール

令和元年6月2日(日) 街頭活動(JR高松駅、フェリー乗場周辺)

令和元年7月上旬 市長定例記者会見でお助け隊の活動について発表(予定)

令和元年7月中旬 ユニフォームを着て本格的に活動(瀬戸芸夏会期)